

## 作業要領及び品質管理チェックシート (3/8) QC-2

No.	作業要領	作業上のポイント	安全上のポイント	記録 形式	記録 区分	立会 区分	確認日 (月/日)	確認日 (月/日)	確認日 (月/日)	確認日 (月/日)	備考
							班長	監督又は 外注先作業 責任者	指導員又は 検査員	電力隊 確認	
①	<p>1) ガイドパイプ引抜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設ガイドパイプ後部にダミー管を組み込み、XY テーブルとダミー管を支持脚で固定する。</li> <li>・XY テーブルを操作し、ガイドパイプを2m引き戻す。</li> </ul> <p>※ 1. ガイドパイプ引き抜きは、ガイドパイプに濡れウエスを当てた状態で行い、引き抜き範囲を湿式除染する。</p> <p>※ 2. ガイドパイプ引き抜きに際し、ダストの発生が確認された時は、局所排風機のダクトホースを引き抜き部位近傍に設置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XY テーブルのギア部に埃量計ケーブルを接続しないよう注意する。</li> <li>・引き抜き時に埃を吸った場合、手を止め本所へ報告すること。</li> <li>・作機時刻管理による適切な除染の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高所では、二丁掛け安全帯を使用する。</li> <li>・架台上開口部に注意し、取降を厳禁し作業する。</li> <li>・黄旗付移動時、手拍の埃が被曝に注意する。</li> </ul>	—	b	◇	3/7	—	—	—	完)
②	<p>2) ガイドパイプ先端線量測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドパイプが2m引き戻された状態で、先端線量計にて線量測定を行う。</li> <li>・B.G 値と測定値を比較して既設ガイドパイプの線量を算出し、ガイドパイプ撤去の可否を判定する。</li> </ul> <p>(下記参照)</p> <p>※ この時の線量が</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B.G + 200mSv/h 以下 の場合 ガイドパイプ撤去可能として、追加チャンパー装置によりガイドパイプ引抜を行う。</li> <li>・要領書のステップは ③ → ④ 既設ガイドパイプ撤去へ移行する。</li> <li>・B.G + 200mSv/h 以上 の場合 ガイドパイプ引抜不可能として、ガイドパイプ降下装置によりガイドパイプ先端部をX-100B ベネ内に降ろし、残置する。</li> <li>・要領書のステップは ③ → ⑤ 既設ガイドパイプ降へ移行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業時刻管理による適切な除染の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高所では、二丁掛け安全帯を使用する。</li> </ul>	—	b	◎	3/7	3/7	3/7	3/7	203

線量測定結果(BG):

68.4 mSv/h

BG+200mSv/h:

122.0 mSv/h

※左記の通り線量測定結果と比較してガイドパイプ撤去可否判断する。